

フレンドリー

FRIENDLY



100号を迎えて



▲ 1989年発行の創刊号と当時のフレンドリーシティ国旗

機関誌「フレンドリー」は、大垣国際交流協会と共に歩み100号を迎えました。表紙に掲載しました創刊号（1989年1月発行）には、36年前に当協会が発足した当時の一歩が記されています。これからも機関誌「フレンドリー」と共に、大垣市のフレンドリー構想に基づいた国際交流活動などを推進してまいります。

No. **100**
2025
SEPTEMBER

多文化共生の取り組み

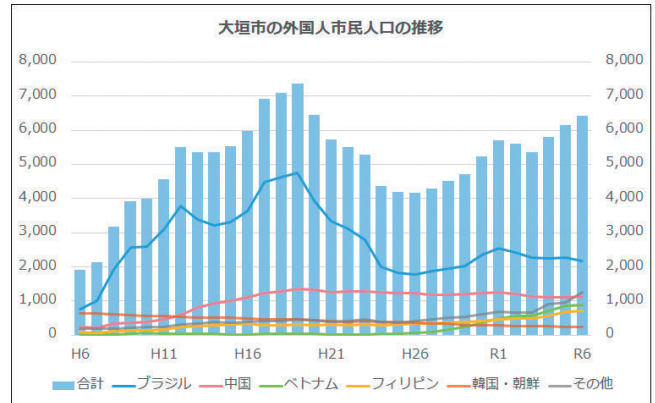
多文化共生とは…

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことです。

大垣市の取り組み

お問い合わせ 大垣市市民活動部まちづくり推進課

大垣市には、約 6,500 人（総人口の 4.2%）の外国籍の方が暮らしています。大垣市では、外国にルーツを持つ住民が地域社会の一員として安心して暮らせるよう、多文化共生の推進に力を入れています。以下は主な取り組みです。



（出典：大垣市ホームページ）

日本語教育

・プレスクール「きらきら教室」

小学校入学直前の外国にルーツを持つ児童とその保護者を対象に、日本語や学校生活への適応指導等を行うプレスクール「きらきら教室」を開催しています。

・放課後支援教室

外国にルーツを持つ小学生・中学生のための「放課後支援教室」を開催しています。この教室では、日本語指導や宿題のサポートなどをして授業の理解をお手伝いしています。

・多文化共生サポーター

多文化共生サポーターは、学校の授業中、外国にルーツを持つ子どもに寄り添い、先生が話す授業の言葉や教科書の内容をやさしい日本語に言い換えて伝えることで、子どもの理解をサポートします。

・初期指導教室・日本語教室

日本語指導を必要とする児童生徒が、在籍学校での学習や生活をできる限り円滑に開始することができるように、必要最低限度の日本語指導や算数指導、生活適応指導等を行う「初期指導教室」が静里小学校にあります。また、初期指導教室を修了した児童生徒や、初・中級程度の日本語指導及び教科指導の補充を行う「日本語教室」が市内小中学校の一部にあります。

多言語対応

・市役所を訪れる外国人市民のため、市役所にはポルトガル語、英語、中国語の通訳があり、手続きや相談の内容に応じて各課の窓口で通訳をしています。

災害対策

・大垣国際交流協会などと協力して、外国人市民に基本的な防災知識を伝える講座を開催しています。
・災害時の避難情報についての解説動画を、ポルトガル語、中国語、英語の3か国語で作っています。



動画が見られます▲



▲プレスクール「きらきら教室」



▲放課後支援教室

大垣国際交流協会の取り組み

西濃（大垣市を中心とした）地域に住む住民の共生社会づくりのため、大垣市のフレンドリーシティとの相互受け入れや、日本語学習支援、情報発信などに取り組んでいます。

地域在住外国人の日本語学習支援

・マンツーマン方式日本語学習支援

休館日を除く毎日開催し、日本語学習支援ボランティアとの学習により、日常生活に必要な日本語の習得を支援しています。

・地域在住外国人のための日本語教室（入門～初級レベル）

日本語が入門・初級レベルの学習者が、生活の中で役立つ日本語の習得を目標に開催しています。

地域在住外国人のための相談窓口の設置

・外国語による生活相談

英語・中国語は随時、ポルトガル語は毎週日曜日に行っています。

・行政手続相談会

在留資格や国際結婚・離婚や帰化などの行政手続きに関して、行政書士が相談に応じます。

・ポルトガル語によるこころの相談

家族や職場での人間関係などのこころの悩みをブラジル出身の心理カウンセラーがポルトガル語で相談に応じます。

・法律相談

交通事故や借金、労働問題など法律に関して、弁護士が相談に応じます。

地域在住外国人のための行事、講座等の開催

・和服体験

・神輿体験（十万石まつりへの参加）

・浴衣着付け体験（納涼盆踊り）

日本語教室▶



和服体験▶



地域在住外国人とのコミュニケーション

「やさしい日本語」を使ってみませんか

英語や中国語などの外国語が話せないと、地域で暮らす外国人の方とのコミュニケーションが難しいと思いますか？
いいえ、そんなことはありません。出入国在留管理庁の調査*によると、日本に住む外国人の70%以上が、「日常生活に必要な会話」以上の日本語会話ができると答えています。「日本語」で多くの外国人の方とコミュニケーションを取ることができます。しかし、難しい言葉を簡単な言葉に言い換えるなど、ちょっとした工夫が必要です。それが「やさしい日本語」です。外国人だけでなく、高齢者や障がいのある人など、多くの人とのコミュニケーションの手段に有効的です。

「やさしい日本語」によりコミュニケーションが取りやすくなります。ぜひ「やさしい日本語」を使って、みなさんの身近にいる外国人の方とお話してみてください。

*令和5年度出入国在留管理庁委託事業「在留外国人に対する基礎調査報告書」(株式会社サーベイリサーチセンター)

「やさしい日本語」って？ こんなことを意識してみると、伝わりやすくなりますよ

話すとき

- ・**ゆっくり、短く**話す。一文で伝えたいことは一つにする。
- ・**はっきり**伝える。あいまいな言い方はしない。
- ・**さいごまではっきり**言う。言いよどみをしない。
- ・簡単な言葉を使う。専門用語を使わない。
- ・漢字の言葉は避けて、簡単な和語にする。
- ・敬語、擬音語や擬態語は使わない。
- ・外来語(カタカナ語)はできるだけ使わない。
- ・絵、写真、図などを使ってわかりやすくする。

書くとき

- ・情報をしぼって、短い文で 簡単に書く。
- ・漢字には ふりがなを つける。
- ・わかりやすく スペースで 区切って 書く。

お役立ちサイト



「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」(出入国在留管理庁HP)

やさしい日本語変換の一例です。他の言い方でも伝わる可能性はありますし、「やさしい日本語」に正解はありません。
これらのことを意識した「やさしい日本語」でコミュニケーションをとると、伝わる可能性が高まるはずです。いろんな場面を使ってみてください！



「やさしい日本語」にしてみよう

ふつうの日本語	やさしい日本語	ポイント
土足厳禁	くつを めいでください。	簡単な言葉を使う。
今週末までに提出してください。	○月○日までに 出して ください。	あいまいな言い方はしない。和語を使う。
喫煙はご遠慮ください。	たばこを吸わないで ください。	簡単な言葉を使う。あいまいな言い方はしない。
床をピカピカにしてください。	床を きれいに してください。	擬音語は使わない。
人身事故のため、ダイヤに大幅な遅れが生じています。	事故がありました。電車はいつものように動いていません。	一文で伝えることは一つ。簡単な言葉を使う。

外国語であいさつしてみませんか

海外に行った時に、日本語で「こんにちは」とあいさつされたら、うれしくありませんか？

同じように、地域で暮らす外国人の人と話をするとき、相手の母語であいさつをすると、うれしく思い心を開きやすくなるかもしれません。大垣市に暮らす外国人のうち、人口の多い4か国の公用語を紹介します。ぜひ使ってみてください。

	おはようございます	こんにちは	こんばんは	ありがとう
ポルトガル語 (ブラジル)	Bon dia (ボン ジア)	Boa tarde (ボア タルデ)	Boa noite (ボア ノイチ)	Obrigado/Obrigada (オブリガード/オブリガーダ)
中国語 (中国)	早上好 (ザオ シャン ハオ)	你好 (ニー ハオ)	晚上好 (ワン シャン ハオ)	谢谢 (シェー シェー)
ベトナム語 (ベトナム)	Chào buổi sáng (チャオ ブオイ サン)	Xin chào (シン チャオ)	Chào buổi tối (チャオ ブオイ トイ)	Cảm ơn (カム オン)
フィリピン語 (フィリピン*)	Magandang umaga (マガンダン ウマーガ)	Magandang tanghali (マガンダン タンハリ)	Magandang gabi (マガンダン ガビ)	Salamat (サラマット)

*フィリピンは多言語国家で、公用語はフィリピン語と英語です。その他、180以上の言語があります。(外務省 HP 参照)



国際理解ワークショップ ～パキスタン編～

8/31(日) スイトピアセンター 料理実習室 参加者:22人

海外の食文化紹介を通して、日本人と外国人が交流するイベントを行いました。大垣市には48か国の国籍の約6,500人の方が暮らしています。パキстанは12番目に多く、50人の方が暮らしています(令和7年8月現在)。大垣市在住でパキスタン出身のウスマン・スマイラさんを講師に迎え、パキスタン料理「チキンサブジカレー」作りに挑戦しました。日本人15人、ブラジル人3人、インドネシア人2人、パキスタン人1人、ベトナム人1人が参加し、楽しく会話をしながら、グループで協力して作ることができました。講師との交流に加えて、参加者同士の多文化交流もでき、楽しんでいただけたようです。



▲グループで一緒に料理作り



▲汁気が少なく、ナンに乗せて食べます

スパイスの香りがして、ちょっぴり辛い「チキンサブジカレー」※サブジ=野菜



▲作った料理を食べながら交流しました



▲講師のスマイラさんと講師補助の中村さん

講師の娘さんが「虹色のライス」と名付けたように、とてもカラフル!!



▲いろいろなスパイスを使ってカレーを作ります

◀ライスから作るスイーツ「ムタジャン」。お祝いの時に食べます。



▶パキスタンの民芸品などを紹介。(この民芸品は、現在、国際交流協会事務局前に展示中)

本事業は、(公財) 岐阜県国際交流センターの助成金で実施しました。

《ウルドゥー語のあいさつ》 文字は右から左に書きます。
اسلام اعليكم (アッサラーム アライクム) こんにちは
شکریہ (シュクリヤー) ありがとう
معاف کیجیے (マーフ キージエ) ごめんなさい
خدا حافظ (クダー ハーフイズ) さようなら

大垣市在住外国人の国籍別人数表

総数:6,593人(国籍数:48)
前号(令和7年3月号)との比較 153人増

	令和7年8月末	前号(令和7年3月号)2月末人数	前号(令和7年3月号)との比較
ブラジル	2,164	2,186	-22
中国	1,135	1,126	9
ベトナム	886	867	19
フィリピン	744	750	-6
ミャンマー	288	235	53
その他	1,376	1,276	100
合計	6,593	6,440	153

総人口に占める割合 4.2%

編集後記

「フレンドリー」が100号を迎えました。今年は昭和100年の節目でもあります。表紙には、懐かしい1989年1月創刊号の表紙を掲載しました。毎号、フレンドリーシティとの交流の様子や当協会が実施する行事を掲載することが「フレンドリー」の役目として始まりました。

大垣市には在住外国人の方が多くおられます。100号では、就労、日常生活、子育て、災害対策、文化・教養等在住外国人の方々と共に暮らしていける取組を掲載しました。各国の挨拶言葉の違いも面白いですね。ご一読ください。

これからも「フレンドリー」は、当協会と共に受け継がれていくことと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

「フレンドリー」良い言葉ですね。平穏な社会でありますように。

今後の予定

- 10/3～11/28 英語基礎会話講座
- 10/5～11/23 ポルトガル語基礎会話講座
- 10/5～12/7 地域在住外国人のための日本語教室(2期)
- 10/11～10/18 ドイツ・シュツットガルト市学生訪問団受入
- 10/12 在住外国人のための神輿体験(十万石まつり参加)
- 12/13 海外研修派遣団員の報告会
- 1月 国際理解ワークショップ(第2回)
- 地域在住外国人のための日本語教室(3期)
- 韓国語基礎会話講座
- 中国語基礎会話講座
- 3月 ボランティアの集い
- 機関誌「フレンドリー」発行
- 通年 マンツーマン方式日本語学習支援(休館日を除き毎日)
- にほんごおしゃべりルーム(毎週日曜日)
- 地域在住外国人のための行政手続き相談(毎月第1日曜日)
- ポルトガル語によるこころの相談(毎月第2日曜日)
- 地域在住外国人のための法律相談(毎月第4日曜日)

フレンドリー No.100

編集／公益財団法人 大垣国際交流協会 広報委員会
〒503-0911 大垣市室本町5丁目51番地
スイトピアセンター学習館2階
TEL(0584)82-2311 FAX(0584)82-2314
<https://www.i-oiea.jp/>
[E-mail]oiea@mb.ginet.or.jp



発行／2025年9月 印刷／サンメッセ株式会社

ホームページQRコード

